

6

[北海道大・文]

方程式  $x^2 + y^2 - 4y + 2 = 0$  で定義される円  $C$  を考える。

- (1) 点  $A(-\sqrt{2}, 0)$  と  $O(0, 0)$  を通り中心の座標が  $(-\frac{\sqrt{2}}{2}, 0)$  および  $(-\frac{\sqrt{2}}{2}, 2)$  である 2 つの円は、どちらも円  $C$  に接することを示せ。
- (2) 点  $P$  が円  $C$  上を動くとき、 $\cos \angle APO$  の最大値と最小値を求めよ。

**7**

[名古屋大・理]

原点  $O(0, 0)$  を中心とする半径 1 の円に、円外の点  $P(x_0, y_0)$  から 2 本の接線を引く。

- (1) 2 つの接点の中点を  $Q$  とするとき、点  $Q$  の座標  $(x_1, y_1)$  を点  $P$  の座標  $(x_0, y_0)$  を用いて表せ。また  $OP \cdot OQ = 1$  であることを示せ。
- (2) 点  $P$  が直線  $x + y = 2$  上を動くとき、点  $Q$  の軌跡を求めよ。

**8**

[東京大・理]

座標平面上の2点  $P, Q$  が、曲線  $y = x^2$  ( $-1 \leq x \leq 1$ ) 上を自由に動くとき、線分  $PQ$  を  $1:2$  に内分する点  $R$  が動く範囲を  $D$  とする。ただし、 $P = Q$  のときは  $R = P$  とする。

- (1)  $a$  を  $-1 \leq a \leq 1$  を満たす実数とするとき、点  $(a, b)$  が  $D$  に属するための  $b$  の条件を  $a$  を用いて表せ。
- (2)  $D$  を図示せよ。

6

[北海道大・文]

(1)  $C: x^2 + y^2 - 4y + 2 = 0$  より,  $x^2 + (y-2)^2 = 2$

これより, 円  $C$  は中心  $(0, 2)$ , 半径  $r = \sqrt{2}$  となる。

さて, 中心  $(-\frac{\sqrt{2}}{2}, 0)$  で,  $A(-\sqrt{2}, 0)$ ,  $O(0, 0)$

を通る円を  $C_1$  とすると, その半径は  $r_1 = \frac{\sqrt{2}}{2}$  である。

すると,  $C$  と  $C_1$  の中心間距離は,

$$d_1 = \sqrt{\left(-\frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2 + 2^2} = \sqrt{\frac{9}{2}} = \frac{3}{2}\sqrt{2}$$

また, 半径の和は,  $r + r_1 = \sqrt{2} + \frac{\sqrt{2}}{2} = \frac{3}{2}\sqrt{2}$

よって,  $d_1 = r + r_1$  となり, 2 円  $C$  と  $C_1$  は外接する。

次に, 中心  $(-\frac{\sqrt{2}}{2}, 2)$  で, 2 点  $A, O$  を通る円を  $C_2$  とすると, その半径は,

$$r_2 = \sqrt{\left(-\frac{\sqrt{2}}{2}\right)^2 + 2^2} = \frac{3}{2}\sqrt{2}$$

すると,  $C$  と  $C_2$  の中心間距離は  $d_2 = \frac{\sqrt{2}}{2}$ , 半径の差は  $r_2 - r = \frac{3}{2}\sqrt{2} - \sqrt{2} = \frac{\sqrt{2}}{2}$  となり,  $d_2 = r_2 - r$  より, 円  $C$  は円  $C_2$  に内接する。

(2)  $C$  と  $C_1$ ,  $C$  と  $C_2$  の接点を  $T_1, T_2$  とおくと, この接点以外は,  $C$  上の点  $P$  は円  $C_1$  の外部, 円  $C_2$  の内部にあり,

$$\angle AT_2O \leq \angle APO \leq \angle AT_1O$$

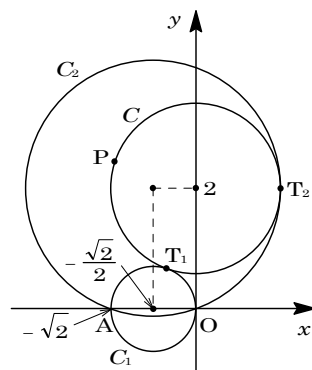
$$\cos \angle AT_1O \leq \cos \angle APO \leq \cos \angle AT_2O$$

さて,  $AO$  は  $C_1$  の直径なので  $\angle AT_1O = 90^\circ$  となり,  $\cos \angle AT_1O = 0$

また,  $C_2$  の中心を  $B$  とおくと,  $\angle AT_2O = \frac{1}{2}\angle ABO$  より,

$$\cos \angle AT_2O = \frac{2}{r_2} = \frac{2}{\frac{3}{2}\sqrt{2}} = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

よって,  $\cos \angle APO$  の最小値は  $0$ , 最大値は  $\frac{2\sqrt{2}}{3}$  である。



### [解説]

(1)の巧みな誘導により, (2)は図形的に解くことができます。この設問を, 誘導を無視して押し通そうとすると, 計算の海に溺れてしまいます。

7

[名古屋大・理]

- (1) 2 つの接点を  $T_1(s_1, t_1)$ ,  $T_2(s_2, t_2)$  とおくと, 接線の方程式はそれぞれ,

$$s_1x + t_1y = 1, \quad s_2x + t_2y = 1$$

点  $P(x_0, y_0)$  を通ることより,

$$s_1x_0 + t_1y_0 = 1 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad s_2x_0 + t_2y_0 = 1 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

ここで, 方程式  $x_0x + y_0y = 1 \cdots \cdots \textcircled{3}$  は直線を表し, ①から  $T_1(s_1, t_1)$ , ②から  $T_2(s_2, t_2)$  を通過することがわかる。すなわち, ③は直線  $T_1T_2$  を表す。

さて, 直線  $T_1T_2$  の法線ベクトルは,  $\overrightarrow{OP} = (x_0, y_0)$  となり, 2 直線  $OP$ ,  $T_1T_2$  は直交する。言い換えると, 2 点  $T_1, T_2$  の中点  $Q$  は 2 直線  $OP$ ,  $T_1T_2$  の交点である。

ここで, 直線  $OP$  は,  $k$  を実数として,

$$(x, y) = k(x_0, y_0), \quad y_0x - x_0y = 0 \cdots \cdots \textcircled{4}$$

$$\textcircled{3}\textcircled{4} \text{ より, } x = \frac{x_0}{x_0^2 + y_0^2}, \quad y = \frac{y_0}{x_0^2 + y_0^2} \text{ となるので, } Q\left(\frac{x_0}{x_0^2 + y_0^2}, \frac{y_0}{x_0^2 + y_0^2}\right)$$

$$\begin{aligned} OP \cdot OQ &= \sqrt{x_0^2 + y_0^2} \cdot \sqrt{\frac{x_0^2}{(x_0^2 + y_0^2)^2} + \frac{y_0^2}{(x_0^2 + y_0^2)^2}} \\ &= \sqrt{x_0^2 + y_0^2} \cdot \sqrt{\frac{1}{x_0^2 + y_0^2}} = 1 \end{aligned}$$

- (2)  $Q(x_1, y_1)$  より,  $x_1 = \frac{x_0}{x_0^2 + y_0^2}$ ,  $y_1 = \frac{y_0}{x_0^2 + y_0^2} \cdots \cdots \textcircled{5}$

(1)から  $OP \cdot OQ = 1$  なので,  $(x_0^2 + y_0^2)(x_1^2 + y_1^2) = 1$  となり, ⑤より,

$$x_0 = x_1(x_0^2 + y_0^2) = \frac{x_1}{x_1^2 + y_1^2}, \quad y_0 = y_1(x_0^2 + y_0^2) = \frac{y_1}{x_1^2 + y_1^2} \cdots \cdots \textcircled{6}$$

さて, 条件より,  $x_0 + y_0 = 2$  なので, ⑥より  $\frac{x_1}{x_1^2 + y_1^2} + \frac{y_1}{x_1^2 + y_1^2} = 2$

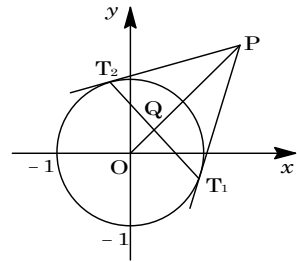
$$2x_1^2 + 2y_1^2 - x_1 - y_1 = 0, \quad (x_1, y_1) \neq (0, 0)$$

すると,  $(x_1 - \frac{1}{4})^2 + (y_1 - \frac{1}{4})^2 = \frac{1}{8}$  から, 点  $Q$  の軌跡は円  $(x - \frac{1}{4})^2 + (y - \frac{1}{4})^2 = \frac{1}{8}$

である。ただし, 原点は除く。

### [解説]

有名な頻出問題です。なお, 点  $Q$  が 2 直線  $OP$ ,  $T_1T_2$  の交点であることは対称性から明らかですが, ここでは二等辺三角形の頂点から底辺に引いた垂線の足が, 底辺の中点であることを用いています。



8

[東京大・理]

- (1)  $P(p, p^2)$ ,  $Q(q, q^2)$  とおき、線分  $PQ$  を  $1:2$  に内分する点  $R$  の動く範囲  $D$  に点  $(a, b)$  が属することより、

$$a = \frac{2p+q}{3} \dots\dots\dots ①, \quad b = \frac{2p^2+q^2}{3} \dots\dots\dots ②$$

- ①より、 $q = 3a - 2p \dots\dots\dots ③$  となり、②に代入すると、  
よって、 $2p^2 + (3a - 2p)^2 = 3b$

$$b = 2p^2 - 4ap + 3a^2 = 2(p-a)^2 + a^2$$

- そこで、 $f(p) = 2(p-a)^2 + a^2$  とおき、 $-1 \leq p \leq 1 \dots\dots\dots ④$ ,  $-1 \leq q \leq 1 \dots\dots\dots ⑤$  のもとで、 $f(p)$  のとり得る値の範囲を求める。

- ③⑤から、 $-1 \leq 3a - 2p \leq 1$  となり、

$$\frac{3a-1}{2} \leq p \leq \frac{3a+1}{2} \dots\dots\dots ⑥$$

- さて、④⑥を  $ap$  平面上に図示すると、右図の網点部になる。

- ここで、 $-1 \leq a \leq 1$  から、 $f(p)$  は最小値  $f(a) = a^2$  をとり、また最大値の候補としては、

$$f(-1) = 3a^2 + 4a + 2, \quad f(1) = 3a^2 - 4a + 2$$

$$f\left(\frac{3a-1}{2}\right) = \frac{3}{2}a^2 - a + \frac{1}{2}, \quad f\left(\frac{3a+1}{2}\right) = \frac{3}{2}a^2 + a + \frac{1}{2}$$

- これより、 $a$  の値で場合分けをして、 $f(p)$  のとり得る値の範囲を求めると、

- (i)  $-1 \leq a \leq -\frac{1}{3}$  のとき

$$f(a) \leq f(p) \leq f(-1) \text{ より, } a^2 \leq b \leq 3a^2 + 4a + 2$$

- (ii)  $-\frac{1}{3} \leq a \leq 0$  のとき

$$f(a) \leq f(p) \leq f\left(\frac{3a-1}{2}\right) \text{ より, } a^2 \leq b \leq \frac{3}{2}a^2 - a + \frac{1}{2}$$

- (iii)  $0 \leq a \leq \frac{1}{3}$  のとき

$$f(a) \leq f(p) \leq f\left(\frac{3a+1}{2}\right) \text{ より, } a^2 \leq b \leq \frac{3}{2}a^2 + a + \frac{1}{2}$$

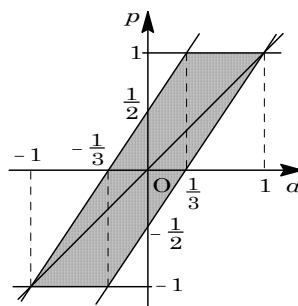
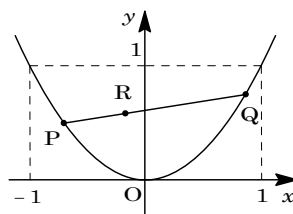
- (iv)  $\frac{1}{3} \leq a \leq 1$  のとき

$$f(a) \leq f(p) \leq f(1) \text{ より, } a^2 \leq b \leq 3a^2 - 4a + 2$$

- (2)  $a < -1$ ,  $1 < a$  のときは、右上図より、④⑥を満たす  $p$  は存在しない。

- よって、(1)から、 $D$  を表す不等式は、

$$x^2 \leq y \leq 3x^2 + 4x + 2 \quad \left(-1 \leq x \leq -\frac{1}{3}\right)$$

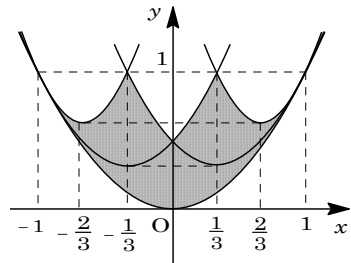


$$x^2 \leq y \leq \frac{3}{2}x^2 - x + \frac{1}{2} \quad \left(-\frac{1}{3} \leq x \leq 0\right)$$

$$x^2 \leq y \leq \frac{3}{2}x^2 + x + \frac{1}{2} \quad \left(0 \leq x \leq \frac{1}{3}\right)$$

$$x^2 \leq y \leq 3x^2 - 4x + 2 \quad \left(\frac{1}{3} \leq x \leq 1\right)$$

以上より、 $D$  は右図の網点部のようになる。ただし、境界は領域に含む。



### [解説]

東大で頻出するタイプの問題です。(1)の誘導がなくても完答できるようにしたいところです。なお、(1)では、いったん考え方を整理するために、 $ap$  平面上で方針を確認しています。